

令和2年度 えりも岬保育所 自己点検・自己評価結果報告

保育所での保育は、『保育所保育指針』という厚生労働省が告示する、保育所における保育内容に関する事項やこれに関する運営について定めたものに基づき、年齢別の保育計画を作成しています。その保育所保育指針の中で『保育所は保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育内容について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。』と明記されています。当保育所では、これに基づき自己評価に取り組みましたので、その結果を公開いたします。

◆評価について

評価するにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

◎・・・よくできている ○・・・ほぼできている △・・・努力を要する

えりも町立えりも岬保育所
所長 谷辻利恵

項 目		評価
【1】子供の発達（保育士）		
1	乳児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われている時期であることを理解して保育しているか	◎
2	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ、新たな能力を獲得していく過程であることを理解しているか	◎
3	子どもの発達の特性や発達過程を理解し、「発達の連続性」に配慮しているか	◎
4	子どもと生活や遊びを共にする中で、一人一人の子どもの心身の状態を把握しているか	◎
5	子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てるために、一人一人の子どもを愛し信頼しているか	◎
6	子どもは様々な環境との相互作用により発達していくことを理解しているか	◎
7	子どもが興味や関心を示し、自発的に働きかけることができるように、身近な環境を整えているか	◎
8	子どもが主体的に関わる環境を用意しているか	◎
9	子ども同士の関係の基礎となるように、あなたは一人一人の子どもと信頼関係を構築しているか	◎
10	仲間との関係の中で「個」の成長も促すことを意識して、遊びを展開させているか	◎
11	豊かな感情とともに好奇心、探究心や思考力が養われるように保育を工夫しているか	○
12	発達上課題のある子供に対しても、子ども自身の力を十分に認め、適切な援助及び環境構成を行っているか	◎
13	保育所の生活になじみにくい子どもに対しても、一人ひとりに応じた適切な援助及び環境構成を行っているか	◎
《意見》・子どもたち一人一人との関わりは、いつも大切にしながら接している。 11：探究心や思考力が養われるような保育が少ないので、心がけている。		

項 目		評価
【2】保育の内容		
1. ねらい・内容		
(1) 養護（生命の保持・情緒の安定）（保育士・所長）		
14	子どもの健康観察を行っているか	◎
15	子どもが触れたりする物や場所など、衛生的な環境を保てるように常に気をつけているか	◎
16	子どもが自分の場を確保できるような配慮をしているか	◎
17	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけているか	◎
18	子ども一人一人にわかりやすい温かな言葉で、おだやかに話しかけているか	○
19	子どもが不安になったときにいつでも支えられるよう、一人一人を視野に入れているか	◎
20	「早くしましょう」など、せかす言葉を不必要に使わないで、状況や一人一人に合わせた対応を心がけているか	◎
21	「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしているか	◎
22	「待ってて」「あとで」などと言わずになるべくその場で対応するようにしているか	○
23	「できない」「やって」などと言ってくるとき、その都度、気持ちを受け止めて対応しているか	◎
24	「いや」などと駄々をこねる子どもの気持ちをくみとろうとしているか	◎
25	登所時、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしているか	◎
《意見》・おだやかに話すことができていると感じることがあるので、おだやかに話すことを心がけていく。 22：「ちょっと待って」と言ってしまうことが多いので、その都度対応できるよう心がけていく。		

項 目		評価
(2) 教育		
①健康 (保育士)		
26	戸外で遊ぶ機会を多く取り入れているか	○
27	友だちと一緒に体を動かすことを楽しめるように働きかけているか	◎
28	保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるように配慮しているか	◎
29	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの一日の生活の流れを考えながら保育をしているか	◎
30	戸外活動の後、子どもが丁寧に手を洗っているか、その都度、確認しているか	◎
31	食事の前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくよう援助しているか	◎
32	食事、排泄など、生活に必要な活動の仕方を身につけるよう、働きかけているか	◎
33	食事・おやつ準備や片付けに参加したり、自分たちでできるよう配慮しているか	◎
34	衣類の着脱を自分でやろうとしている子どもの気持ちを大切にしているか	◎
35	危険に気付いて行動できるよう、安全についての心構えを日頃から話しているか	◎
36	病気の予防に必要な活動をその場その時に適して、取り入れているか	◎
37	自分の体を大切にすることが育つよう、話をする機会をもっているか	◎
<p>《意見》・戸外で遊ぶ機会を多く取り入れているが、天候に左右されやすいため、遊ぶ機会が少なくなってしまう。機会を逃さないようにする。</p> <p>・健康な体づくりについて、子どもたちにわかりやすく話し伝えたり、食事や排泄・衣類の着脱なども、子どもたち一人一人に合わせた関わりを心がけている。</p>		

項 目		評価
②人間関係 (保育士)		
38	保育所生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れているか	◎
39	友だちと一緒に喜んだり、悲しんだりすることができる機会をつくっているか	◎
40	つまづきや葛藤、けんかなどを子どもたちの育ち(発達)に欠かせないものとして、対処しているか	◎
41	子ども同士が思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気づけるよう援助しているか	◎
42	友だちと一緒に一つのことをやり遂げることにより、達成感が味わえるような機会をつくっているか	◎
43	良いことや悪いことに気づき、考えて行動することができるように配慮しているか	◎
44	困っている友だちのことを心配するなど、思いやりを持てるよう援助しているか	◎
45	保育所生活の中で、順番を守るなどのきまりの大切さを理解できるように丁寧に説明しているか	◎
46	共同の遊具や用具を大切に使う事や活動を通して体験できるよう配慮しているか	◎
47	当番活動や保育士の手伝いをするなど、人の役に立つ喜びを味わえるようにしているか	◎
48	地域の人との関わり、親しみや感謝の気持ちを持てるような保育を心がけているか	◎
<p>《意見》・一人一人の頑張りや良いところを褒めることで友だちの頑張りや良いところに気づけるよう働きかけている。</p> <p>・保育士が仲立ちとなったり、時には、見守ったりしながら、友だちとの関わりが深まるよう働きかけている。</p>		

項 目		評価
③環境（保育士）		
49	その日の天候、気象に合わせた保育をしていますか	◎
50	身近な動植物を飼育・栽培するなど、それらに興味や関心を持つことができるよう配慮しているか	△
51	身近な自然事象に触れ「どうして」や「なぜ」といった疑問に対して、一緒に調べたり、考えたりしているか	◎
52	園庭や散歩で集めてきた葉や木の実など、季節感のある素材を保育の中で活用しているか	○
53	集めてきた木の実を数えたり、数量や図形などに関心をもつよう工夫しているか	◎
54	身の回りにある簡単な標識や文字に関心を持ち、その意味や役割がわかるよう配慮しているか	◎
55	いろいろな国に興味や関心をを育てるようにしているか	△
<p>《意見》50：コロナ影響で、植物の栽培を行えていないので、次年度は行えるよう準備していく。 気候により育ちにくさはあるが、今後も続けていきたい。</p> <p>55：国への関心が薄い為、保育にゲームとして取り組むことも考えていく。</p>		

項 目		評価
④言葉（保育士・所長）		
56	子どもの言葉の発達の過程について、保育士として専門的な目で詳細に観察しているか	◎
57	あなたは、子どもの発達や理解力や生活体験に合わせた言葉を使って保育していますか	◎
58	あなたは、日々、心のこもったあいさつを子どもと交わしていますか	◎
59	あなたは、正しい言葉で子どもに話しかけていますか	○
60	子どもたちがしたいこと、してほしいことを話しているとき、最後までゆったりと聞くよう努めているか	◎
61	あなたは、子どもがわからないことを尋ねることができるなど、安心して話せる雰囲気を作っているか	◎
62	困っている友だちのことを心配するなど、思いやりを持てるよう援助しているか	◎
63	話し合いのときには、どの子どもも自分の意見を言うことのできる機会を提供しているか	◎
64	人の話を聞くことの楽しさを体験するよう心がけているか	◎
65	子どもが人前で話すときは、相手にわかりやすく話せるように援助しているか	◎
66	絵本や紙芝居の読み聞かせをするとき、言葉の楽しさや美しさに子どもが気づけるよう心がけているか	○
67	子どもの興味や関心に合わせた絵本や物語の選定をしているか	◎
68	人と気持ちが通じ合う喜びを味わえるよう配慮しているか	◎
69	「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育しているか	◎
<p>《意見》・言葉づかい、あいさつについては、各自、気を付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居を通して、たくさんの言葉（表現）に触れる機会を作ることができている。 ・どんな状態、状況の時でも、子どもたちの話を聞くことや子どもの年齢に合った言葉で話すことまた、話しかける時の声の大きさや子どもたちが理解できる言葉で話すことに更に配慮していく。 		

項 目		評価
⑤表現（保育士）		◎
70	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助しているか	◎
71	様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りに気づき、心地よさを感じる機会を作っているか	◎
72	子どもが様々な楽器を使う機会を提供し、音楽に親しみを持ち、楽しめるよう工夫しているか	◎
73	はさみや大工道具など、道具の正しい使い方を一人一人に丁寧に教えたり、見守ったりしているか	◎
74	子どもが作ったり、表現したものをお互いに見せ合ったりするような機会を作っているか	◎
75	感じたことや考えたことを自由に描いたり、作ったりできる機会をもうけているか	◎
76	自由に描いたり、作ったりできるように教材や用具を子どもたちが自由に取り出せる場所に置くなど工夫しているか	○
77	自分のイメージを言葉などで表現したり、演じたりして、遊ぶ楽しさを味わえるようにしているか	◎
78	みんなで一緒に表現することの喜びを味わえるような機会を作っているか	◎
79	人前で表現する機会や場面を保育の中でできるだけ多く用意しているか	◎
《意見》・子どもたちの歌ったり、踊ったりという要求に応えたり、音の動きの楽しさに気づけるように関わっている。		

項 目		評価
(2) 保育の環境（保育士・所長）		
80	季節に合わせて保育室のインテリアなど環境に工夫をしているか	◎
81	保育中に音楽を流すときには、選曲や音の大きさに配慮しているか	◎
82	保育中のあなた自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさであるか	○
83	子どもの発達に即した玩具、遊具、用具を用意しているか	◎
84	クレヨン、粘土、紙や用具などを子どもの動線に沿って配慮するなど工夫しているか	◎
85	子どもの興味に合わせて、好きな遊びができるコーナーを設けるよう工夫しているか	◎
86	日々の保育の中に子どもが自由に遊べる時間帯を設けているか	◎
87	子どもの作品を工夫して飾ったり、丁寧に保存したりするなど、大切に扱っているか	◎
《意見》・季節にちなみ子どもたちの作品を展示している。今後も続けていく。 ・保育自身の声の大きさがいつも子どもにとって適切な大きさかどうかを常に考え、話すよう意識している。		

項 目		評価
(3) 子どもの人権（保育士・所長）		
88	「男（女）の子だから〇〇しなさい」等と、行動（態度）・持ち物・服装等について、性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮しているか	◎
89	子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに受け入れる心を育てる保育を心がけているか	—
《意見》・性差への先入観や固定的な対応をすることなく、保育を進めることができている。 ・次年度も、子ども一人一人の個性や人権を守れるような保育を心がけていく。 89：対象となる子は、いない。		

項 目		評価
【3】保育の計画及び評価		
(1) 保育の計画		
①指導計画の作成 (保育士)		
90	指導計画作成は、必ず保育過程に基づいて作成しているか	◎
91	年・月案などの長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週案などの指導計画を作成しているか	◎
92	指導計画を作成する際は、一人一人の子どもの発達過程や子どもの状況に配慮しているか	◎
93	週案などの指導計画は、子どもの興味や関心、意欲に合わせて活動が展開できるように作成しているか	◎
94	指導計画は、日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して作成しているか	◎
95	行事は、その保育上の意識を十分検討したうえで、指導計画に組み入れているか	◎
96	あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっているか	◎
97	保育日誌の記入事項を指示された内容で記入されているか	◎
98	その日にあった出来事や気になる子どもの様子などをその子どもに関わる他の職員と共有しているか	◎
99	子どもの個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理しているか	◎
《意見》指導計画(月案)には、養護的側面と教育的側面を考慮し、指導計画を作成するよう心がけたり、月案を基に細かく計画を考え、進めることができている。		

項 目		評価
【4】健康及び安全		
(1) 子どもの健康支援 (保育士) (2) 環境及び衛生管理 (保育士)		
100	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしているか	◎
101	身長・体重などの定期的な計測の結果を保護者に文書で伝えていますか	◎
102	健康診断の結果を子どもに関する他の職員と共有していますか	◎
103	一人一人の子どもの出生時の状況、その後の発育・発達などを細かに把握しているか	◎
104	子ども一人一人の健康状態などを職員相互で確認しているか	◎
105	子どもの投薬を要請された場合、医師の指示など留意事項の確認をしているか	◎

(2) 環境及び衛生管理 (保育士)		
106	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮しているか	◎
107	適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔を保つようにしているか	◎
108	砂場は、動物の侵入を防いだりするなど、衛生面に配慮しているか	—
109	玩具・遊具については、適宜、衛生面に配慮しているか	◎

(3) 安全管理 (保育士)		
110	子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気を付けて行動するように指導しているか	◎
111	施設・設備の安全に関する点検をマニュアルに沿って確実にやっているか	○
112	交通安全の習慣が子どもに身につくように指導しているか	◎
113	災害時に安全に避難できるようにするための訓練を行っているか	◎

114	不審者が保育所内に侵入した際、あなたがどのように対応するのかを理解しているか	○
<p>《意見》・危険なことについての話や危険に対する対応、避難訓練については、継続していく。 108：砂場は、ない。 ・不審者が侵入した際の対応を職員間で、共通のものにし、職員それぞれの動きを確認していく。</p>		

項 目		評価
(4) 食育の推進 (保育士)		
115	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように雰囲気づくりなど工夫しているか	◎
116	偏食や残さず食べることを直そうと過度に叱ることがないように配慮しているか	◎
117	子どもが栽培・収穫したもの、調理したものを食べるなど、機会をつくるよう心がけているか	△
118	様々な教材や畑の活動を通して、食べ物に興味や関心を持つことができるように働きかけているか	◎
119	食べ物が体の中で、どのような働きをするのかをわかりやすく説明している	◎
120	その日の昼食の食べ具合などを必要に応じて、保護者に知らせているか	◎
121	食物アレルギーの子どもに対して、除去食などの配慮をしているか	◎
122	子どもの体調に応じた食事が提供できるように配慮しているか	◎
123	あなた自身がおいしく、楽しく食事ができるよう努めていますか	◎
124	あなた自身が「いただきます」「ごちそうさま」と感謝をもって食事ができるよう努めているか	◎
<p>《意見》 117：コロナの影響で栽培が行えなかった為、今後行えるよう計画していく。 ・子どもたちが楽しく食事できるように関わり、苦手な物も無理なく工夫し、進められている。 ・アレルギー児に対しては、調理員に任せるだけではなく、保育士が目視でも確認し、二重チェックができています。</p>		

項 目		評価
【5】 保護者に対する支援		
(1) 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援 (保育士・所長)		
125	送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか	◎
126	一人一人の保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか	◎
127	子育てや就労を支えるために保護者の気持ちに配慮しながら接しているか	◎
128	あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけているか	○
129	保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録しているか	◎
130	保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思うものについては、保育で取り組むように努めているか	◎
131	保護者からの相談内容などを担任一人の問題にしないで、保育所全体で受け止めようとしているか	◎
132	子育てについて、保護者と共通理解を得るために懇談会などの機会を設けているか	◎

133	自分の保育実践の内容や意図をわかりやすく保護者に説明することができるか	○
134	子どもの体調がよくないときなどに保護者に電話をする際、その内容がどのように伝わるかを考えているか	◎
<p>《意見》・保護者一人一人に丁寧な対応を心がけることができている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子も伝え合うことができ、子どもの育ちに共通理解が持っていると感じる。 ・今後も変わらず、保護者との信頼関係が気付けるよう、行っていることを簡潔に、的確に伝えられるよう心がけていく。 		

項 目		評価
(2) 地域や関係機関との連携 (所長)		
135	子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っているか	◎
136	地域の住民から受けた子育ての相談の内容について、連絡・相談すべきところを知っているか	◎
137	保育所周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的なあいさつなどを心がけているか	◎
138	中高生や大学生などの保育体験を受け入れる時には、その目的や意義を理解・確認しているか	◎
139	ボランティアを受け入れる時には、意義や方針を理解し、あなたが指導的立場にあることを意識しているか	◎
《意見》・今後も、地域や関係機関との連携を大事にしていく。		

項 目		評価
【6】職員の資質向上 (保育士・所長)		
140	会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言しているか	◎
141	保育所内外における研修・研究活動に積極的に参加しているか	◎
142	同僚のそれぞれの役割とあなたが果たすべき役割を理解しているか	◎
143	自分の保育実践の内容や意図を職員にわかりやすく説明することができるか	◎
144	自分の保育実践について、職員から意見を聞くように努めているか	○
145	自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的に自己研鑽しているか	◎
146	研修に参加したり、専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めているか	○
147	保育士の人間性が子どもに影響を与えることを自覚して、研修に励んでいるか	◎
148	子どもの発達保障や子どもの最善の利益を配慮した保育を進めるために園内外の研修に参加しているか	◎
149	あなたは、保育士としての人間性や倫理観を高めるために自己研鑽しているか	○
<p>《意見》・コロナの影響の為、研修会等には参加できなかったが、他の部分で専門書やネットを通して、資質向上のため自己研鑽できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、職員の連携を大事にしながら、個々の保育の質を高められるよう努力していく。 		